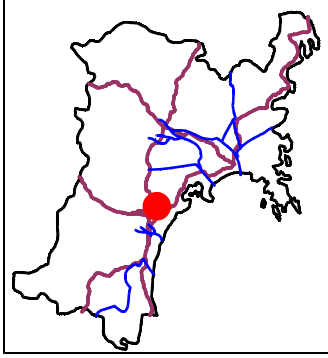
魅力ある都市づくり

事業名	一般国道4号　仙台拡幅（直轄） （宮城県仙台市）
事業着手：平成元年度	

事業の必要性・事業の概要

宮城県



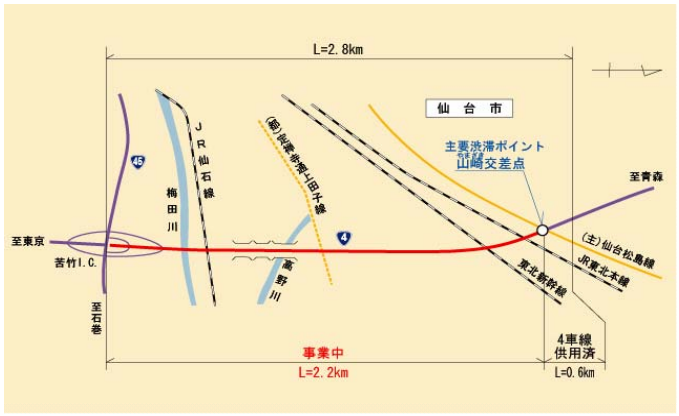
「事業の必要性」

仙台市内を通過する一般国道4号は、昭和50年3月に全線4車化をし、さらに、昭和57年7月に仙台南部道路との交差部から一般国道45号との交差点（苦竹IC）までの約8．1kmを6車線供用しています。

しかし、近年の交通量の増大により、4車線部分の主要地方道仙台松島線との交差部（山崎交差点）は「東北有数の渋滞ポイント」となり、交通渋滞が著しいため、主要幹線道路としての機能が低下しており、早急な対策が必要になっております。

「事業の概要」

仙台拡幅は、苦竹ICから山崎交差点までの間の延長2．2kmを6車線化することにより、当該区間の交通容量の大幅アップと山崎交差点の渋滞緩和を図ります。



▲切り回しながら施工中の仙台拡幅



「東北有数の渋滞ポイント：山崎交差点」の渋滞状況

最大渋滞長：2，000m
最大通過時間：11分
最大渋滞時刻：午前8時30分



▲山崎交差点の渋滞状況（山崎交差点から苦竹IC方向）



▲全線6車線供用イメージ

事　業　効　果

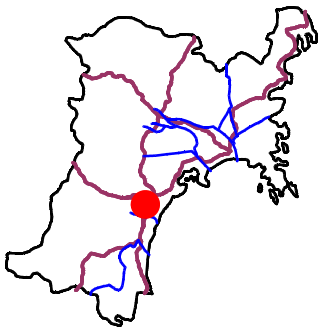
○現況4車線を6車線化することにより、交通容量の大幅増加（約6,000台／時　→　約9,000台／時）
○東北有数の渋滞ポイントである山崎交差点の渋滞の緩和

魅力ある都市づくり

事業名	中央一丁目第二地区第一種市街地再開発事業（補助：事業主体 仙台市） （宮城県仙台市）
事業着手：平成１２年度	

事業の必要性・事業の概要

宮城県

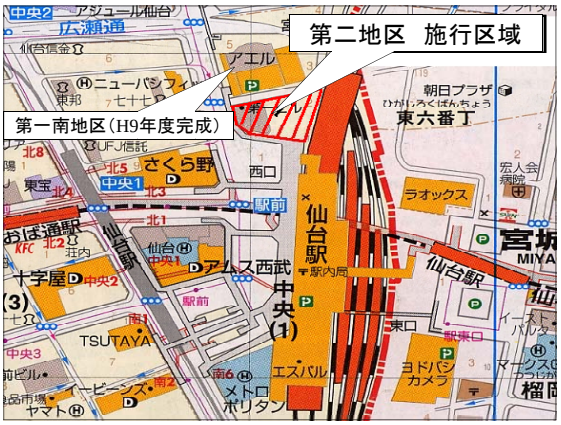


「事業の必要性」

当地区は、ＪＲ仙台駅北部玄関口に位置し、駅前の賑わいの創出と中心市街地の活性化、さらに杜の都仙台のシンボル拠点としてふさわしい駅前の景観形成が期待される地区です。しかしながら、現在の地区内の状況は、土地の高度利用は図られているものの、建物の老朽化が目立ち防災上の不安を抱える状態で都市機能面でも商業空間の連続性や歩行者回遊性が不十分であること、業務についての高次情報化等に対応した機能導入が図られていないこと等魅力に欠けるものとなっています。

「事業の概要」

仙台駅に隣接して商業・サービス機能と情報化等に対応した広域的な業務機能の集積を視野に入れた複合施設を整備することにより、ペデストリアンデッキを介して周辺施設との回遊性を高め、駅前の賑わいの創出を図るとともに、魅力ある都市景観の創出に寄与します。



＜位置図＞



＜現況＞



＜完成予想図＞

事　業　効　果

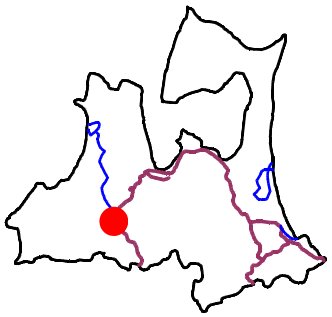
○駅周辺の回遊性、利便性の向上を図ることにより、中心市街地の賑わい創出に寄与します。
○杜の都仙台の駅前にふさわしい魅力ある都市景観の創出に寄与します。

魅力ある都市づくり

事業名	都市計画道路　下白銀福村線（補助：事業主体　青森県） （青森県弘前市）
事業着手：平成２年度	

事業の必要性・事業の概要

青森県

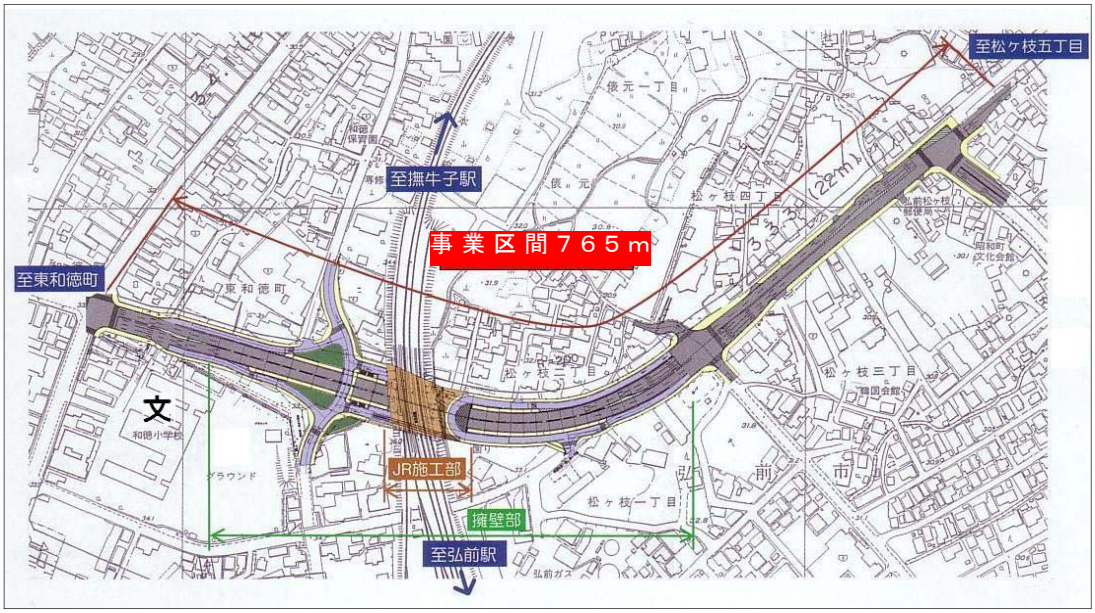


「事業の必要性」

本路線は、弘前市街地を東西に貫き、国道7号と国道102号へ連絡する主要幹線街路です。また、市街地中心部においてJR奥羽本線と立体交差し、東西両地域の連絡強化・郊外部から市街地への円滑な流入等、多くの機能を有している路線です。しかし、現況道路は2車線で歩道がなく、慢性的な渋滞箇所となっており、歩行者・自転車の通行も危険な状況であるため、本路線の整備により、交通混雑の緩和、歩行者・自転車の安全確保を図ります。

「事業の概要」

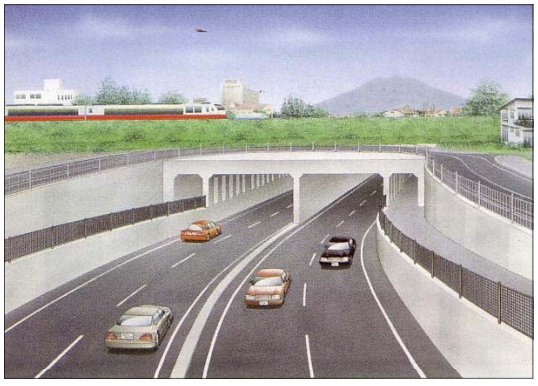
本事業は、JR奥羽本線の立体交差の整備を含む延長765m,4車線(W=22m)の街路事業です。



＜位　置　図＞



＜現道渋滞状況＞



＜完成予想パース＞

事　業　効　果

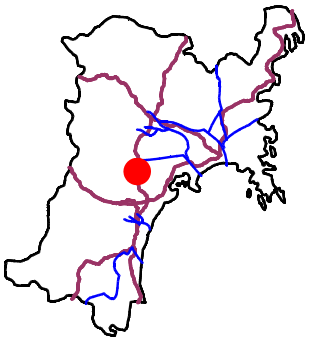
○通学路の歩道を確保します。
○渋滞箇所が緩和されます。

魅力ある都市づくり

事業名	吉岡南第二土地区画整理事業（補助：事業主体　宮城県） （宮城県黒川郡大和町）
事業着手：平成13年度	

事業の必要性・事業の概要

宮城県



「事業の必要性」

本地区は、大和町中心部の南側に隣接しており、地区周辺では公益施設（公立黒川病院、大和警察署、大和町ふれあい文化センター）等の整備が進んでおり、当地区の開発による道路ネットワークの充実と一体的な街並みの形成が必要です。

「事業の概要」

土地区画整理事業として、約68.2haの地区内の都市基盤整備を推進し、商業、業務、文化、行政等の各種都市基盤施設の整備と北部工業団地等への就労者の増加に対応した良好な住環境の整備を図ります。



＜土地利用計画図＞



＜完成済みの都市計画道路＞



＜完成イメージ図＞

事　業　効　果

○計画人口2,560人（約790戸）の良好な住環境を備えた市街地が形成されます。

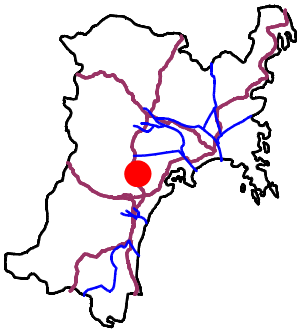
魅力ある都市づくり

事業名	都市計画道路　北四番丁大衡線（補助：事業主体　仙台市） （宮城県仙台市）

事業着手：平成10年度

事業の必要性・事業の概要

宮城県

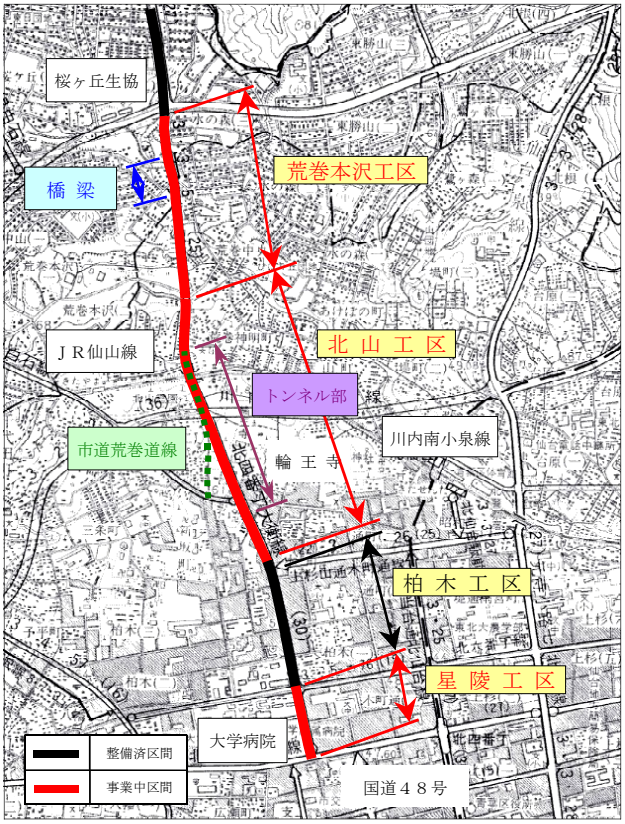


「事業の必要性」

当該路線は、仙台市都心部から北部住宅地・工業流通団地を経由し、隣接の大和町をとおり大衡村に至る、仙台市の都市骨格形成に資する3環状12放射道路の放射線の1路線です。また、国道4号及び北部へ向かう都市計画道路として唯一供用済み路線である元寺小路七北田線のバイパス的機能も有している重要路線です。

「事業の概要」

本事業は、神社仏閣を避けたトンネル（L=629m(上り),L=843m(下り)）と、急峻な地形を橋梁（L=111m）で計画した、全延長2,837m、4車線の街路事業です。4工区に分け整備を進め、供用済みの工区を除く3工区は中心市街地における快適性に考慮し、電線共同溝の整備も併せて行います。



＜位置図＞



＜完成予想図：荒巻本沢工区＞



＜完成予想図：北山工区起点側トンネル坑口＞

事　業　効　果

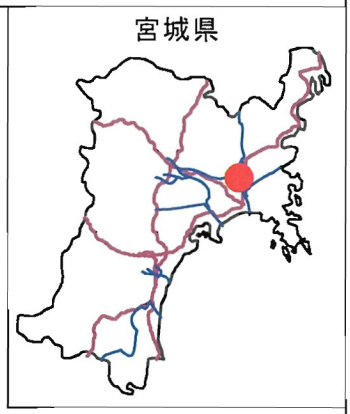
○主要渋滞ポイント4箇所（市名坂交差点、南中山1丁目南交差点、荒巻中央交差点、青葉町交差点）の渋滞が緩和されます。
○都市内における無電柱化の推進による都市防災、安全性・信頼性の高い道路網形成に寄与します。

魅力ある都市づくり

事業名	まちづくり交付金　「上屋浦地区」　（補助：事業主体　登米市） （宮城県登米市）

事業着手：平成16年度

事業の必要性・事業の概要



「事業の必要性」

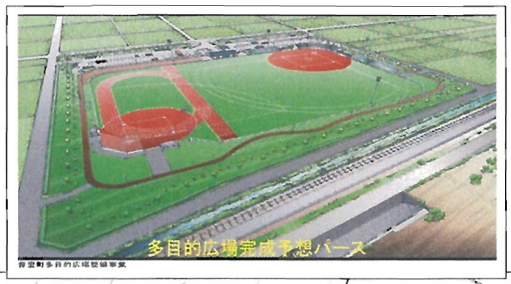
当地区はJR陸前豊里駅を中心とした登米市豊里地区の市街地部に位置し、幹線道路の整備や地域産物活用施設「がんばる館」をはじめとする各種の公共施設等のインフラの整備が精力的に進められている地域です。

この地区の良好な生活環境を十分に活用するには、地区内での良質の住宅供給が不可欠であり、そのことにより定住人口の増加をめざし、本計画のメインテーマである「生涯にわたり安心して暮らせる町づくり」の達成を図る必要があります。

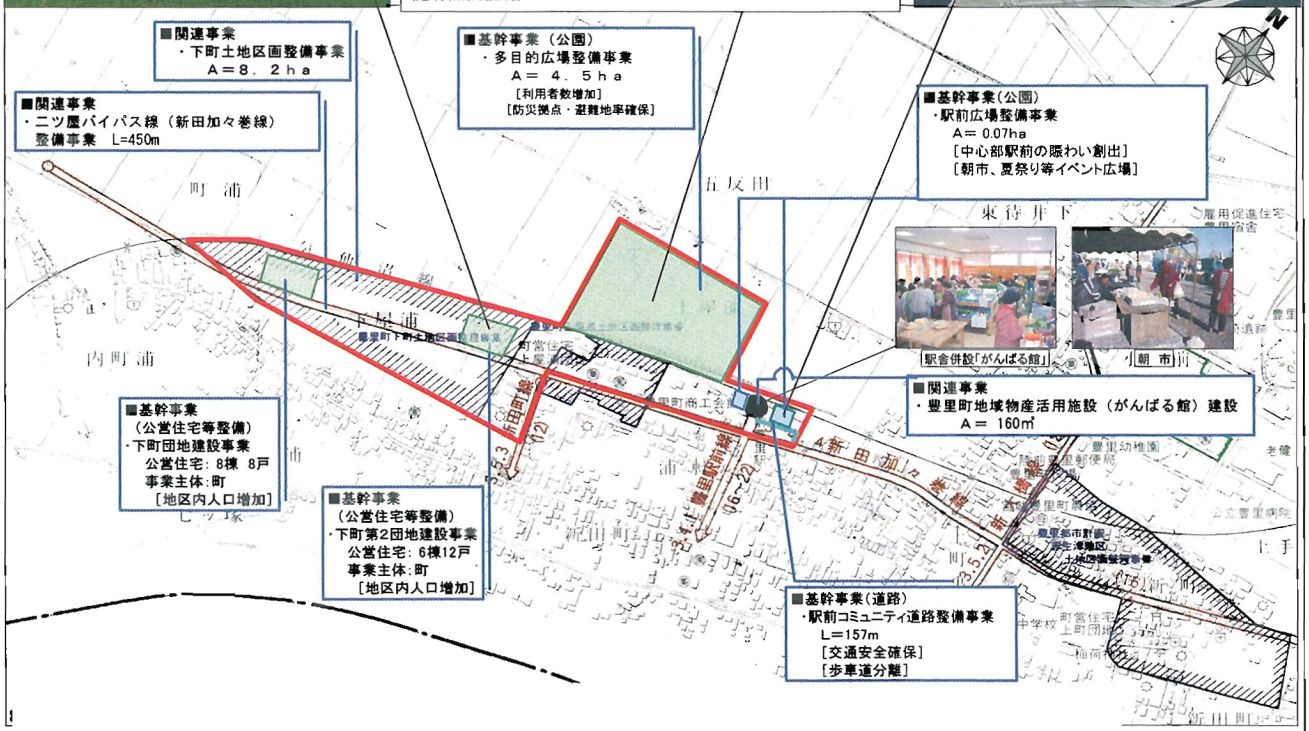
「事業の概要」

公営住宅の整備により、良質な住環境を提供し、地区内への定住促進を図ります。また、多目的広場、駅前のコミュニティ道路・公園の整備による利便性の向上と新たな交流拠点の確保を図ります。


下町第二団地住宅完成写真


多目的広場完成予想パース


駅前コミュニティ道路完成写真



事　業　効　果

○定住促進による地区内居住人口の増加と利便性向上による地域内交流の活性化に寄与します。

魅力ある都市づくり

事業名	まちづくり交付金　「八幡（はちまん）地区」　（補助：事業主体　遠野市） （岩手県遠野市）
事業着手：平成16年度	

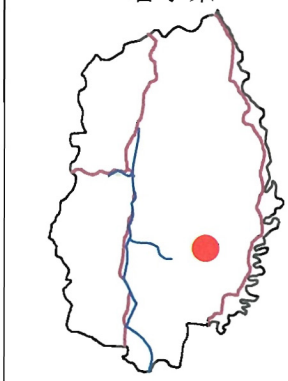
事業の必要性・事業の概要

「事業の必要性」

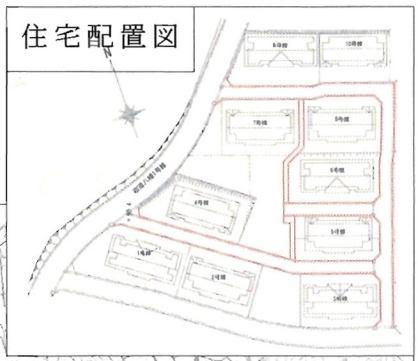
当地区は遠野市の中心市街地北部に位置し、学校（小・中・高）、病院、老人ホーム、デイサービス、総合運動公園等が集積していますが、地区内の道路等が狭隘（きょうあい）であることから、生活基盤の整備による快適な居住環境の創出が望まれています。また、地区東部の誘致企業に勤める若い就労者の定住のため、地区内へ公営住宅の整備が必要です。

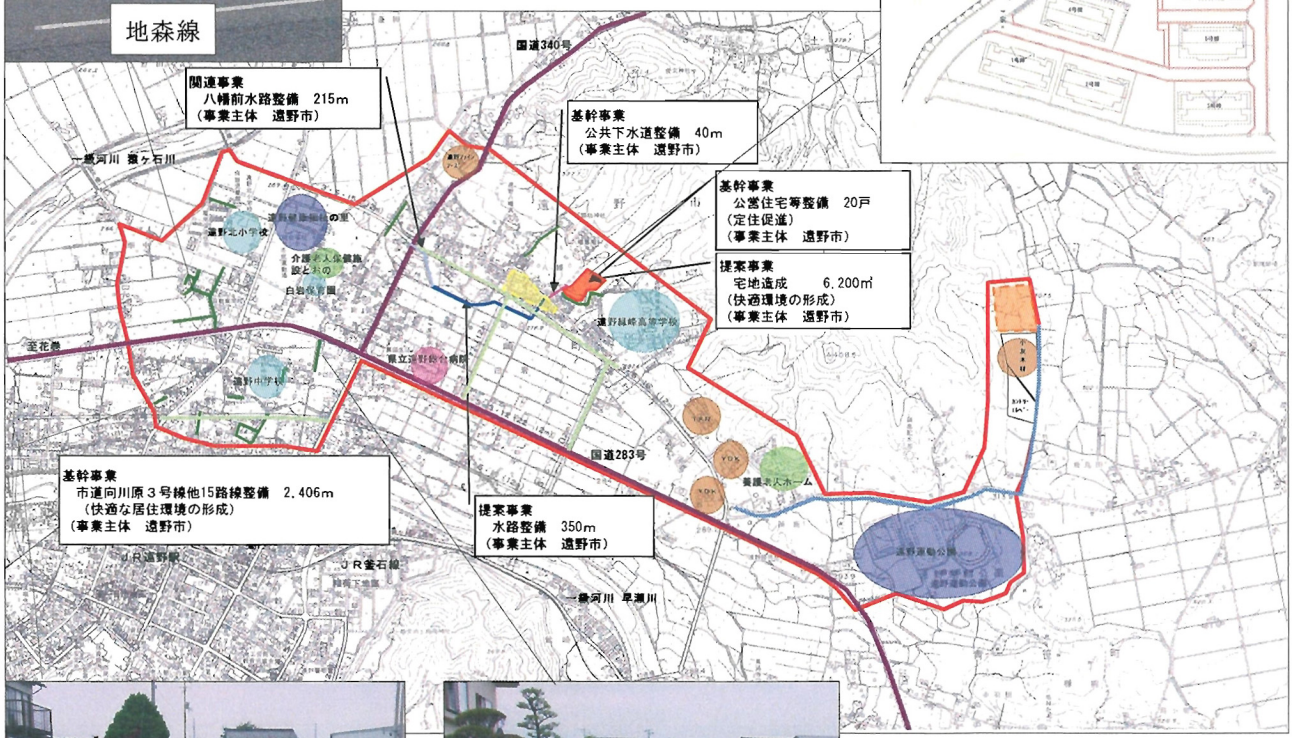
「事業の概要」

公営住宅、公共下水道の整備により、良好な居住環境の創出と地区内への定住促進を図ります。また、生活に身近な道路の整備により、快適で安心な暮らしの確保を図ります。













事　業　効　果

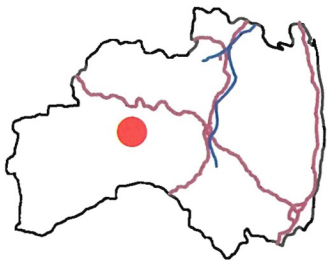
○交流・就労人口の拡大と定住の促進、快適な居住環境、安心な暮らしの創出に寄与します。

魅力ある都市づくり

事業名	街なみ環境整備事業　「瀬戸町地区」　（補助：事業主体　会津本郷町） （福島県大沼郡会津本郷町）
事業着手：平成11年度	

事業の必要性・事業の概要

福島県



「事業の必要性」

当地区は、会津本郷町の中心部に位置し、東北最古の窯業・焼き物のまちとしての歴史と産業形態を有しながらも、かつての賑わいが薄れ、焼き物のまちとしての面影も失われつつあり、また景観的に混乱した状況にあることから、賑わいを取り戻すと共に、街なかに残されている水路、住宅、土蔵、白鳳山の緑や歴史的な遺構をまもり、会津本郷町らしさを後世に伝えるための整備が必要です。

「事業の概要」

道路や水路の結節点に小公園や緑地を整備し、また通路整備や道路の美装化により歩行ネットワークを形成します。また、水路整備や修景助成事業により美しい街並み形成を図ります。







凡例　瀬戸町地区エリア

事　業　効　果

○会津本郷町の伝統を活かした豊かで快適・安全な居住空間の創出と賑わいの復活に寄与します。

魅力ある都市づくり

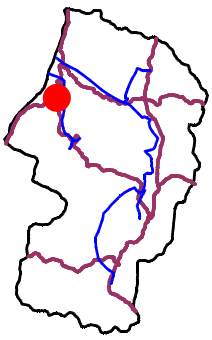
施策名	鶴岡第2地方合同庁舎周辺地区整備における地域との連携 （山形県鶴岡市）

施策の必要性・事業の概要

「施策の必要性」

鶴岡市では、国の鶴岡第2地方合同庁舎の整備計画を契機とした、「鶴岡文化学術交流シビックコア地区整備計画(H14.7.1)」を策定しました。これに基づき、合同庁舎予定地周辺地区の整備について、市民と行政のパートナーシップの向上を図りながら継続して取り組んでいきます。

山形県



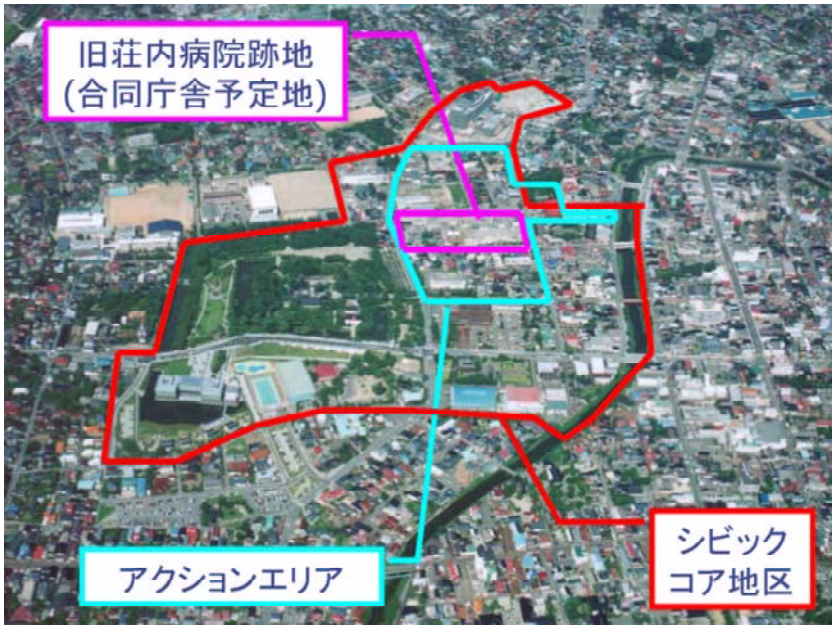
「施策の概要」

鶴岡文化学術交流シビックコア地区整備計画は、①中心市街地活性化への寄与、②市街地再編に向けた他事業の誘発、③各種都市機能の中心市街地への誘導促進を図りながら、城下町の雰囲気に調和した魅力と活力ある地区の創造を目指しています。

地区整備にあたり、整備内容を市民に公開すると共に、市民参加型のまちづくりワークショップ、シンポジウムを開催するなどして、将来の管理運営・市民利用への多くの意見が反映されたまちづくりが実現できるよう地域との連携を図ります。



ワークショップ：まち歩き



鶴岡シビックコア地区



ガリバーマップ作成



模型作成・グループ討議

施 策 の 効 果

○地域の声がより一層反映されることにより、魅力と賑わいのある良好な街並みが形成されます。